

「もしも」を「いつも」に 災害が起こる前にできること

政府の地震調査委員会によると、今後30年以内に南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率は70パーセントとされています。

皆さんは、いつ起こるか分からない災害に対して、どのような備えをしていますか？

☎防災対策課 ☎245-5113 ☎245-5552



熊本地震で倒壊した住宅

(一財)消防防災科学センター

避難情報が変わりました

市が発令する避難情報が5月から変わりました。警戒レベル4の避難指示が出たら、危険な場所から全員避難しましょう。高齢者や障害者など、避難に時間がかかる方やその支援をする方は、警戒レベル3の高齢者等避難で避難を開始してください。高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせる、避難の準備をする、自主的な避難をするなど、必要に応じた行動を取りましょう。

詳しくは、[千葉市 警戒レベル](#)
☎危機管理課 ☎245-5151 ☎245-5597

警戒レベル	取るべき行動	避難情報など
警戒レベル5	命の危険直ちに安全確保	緊急安全確保
警戒レベル4	危険な場所から全員避難	避難指示
警戒レベル3	危険な場所から高齢者らは避難	高齢者等避難
警戒レベル2	避難行動の確認	大雨注意報など(気象庁)
警戒レベル1	心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

自分と家族の安全は自分たちで守る 自助の備え

自助とは、いざというとき自分や家族の命と財産を守るために、自分自身で、家族全員で備えることです。普段から災害に関する知識を身に付け、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいか考え、災害に対する準備をしておきましょう。

ハザードマップを確認しよう

洪水、内水や土砂災害の恐れのある箇所や避難先は、地震・風水害ハザードマップ(WEB版)で確認できます。自分の家の周りにどんな危険があるか確認し、家族や地域で、安全に避難できる避難先や避難経路について話し合しましょう。

詳しくは、[千葉市 ハザードマップ](#)
☎防災対策課 ☎245-5147 ☎245-5552

感震ブレーカーを設置しよう!

阪神・淡路大震災や東日本大震災で発生した火災の6割以上が電気に起因する火災といわれています。

感震ブレーカーは、設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具で、地震による電気火災対策に効果的です。

感震ブレーカーは、製品ごとの特徴や注意点を踏まえて、適切に選びましょう。詳しくは、[千葉市 感震ブレーカー](#)
☎消防局予防課 ☎202-1613 ☎202-1669

非常用の備蓄品や持ち出し品を準備していますか？

災害発生直後は、食料や日用品の購入が難しくなります。家族構成などを考慮して、必要な備蓄をしておきましょう。

非常備蓄品チェックリスト

- 食料品 缶詰・レトルト食品など簡単な調理で食べられるもの(1人最低3日分)
*アレルギーをお持ちの方は、自分に適したものを備蓄しましょう。
- 飲料水 ペットボトル飲料水など(1人1日3リットルが目安)
- 生活用品 携帯トイレ、マスク・消毒液・ウエットティッシュ・体温計、生理用品、使い捨て手袋、歯ブラシ、カセットコンロなど
- 照明・通信 ランタン、乾電池、携帯電話の予備バッテリーなど



非常持ち出し品チェックリスト

- 貴重品 現金・預金通帳・キャッシュカード、印鑑、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカードなど
- 避難用具 懐中電灯、携帯ラジオ、ヘルメット・長靴など
- 衣料品類 着替え・下着・靴下・スリッパ・タオル、軍手・雨具・防寒具など
- その他 紙皿・紙コップ、眼鏡(コンタクトレンズ)、救急医薬品(ばんそうこう・包帯など)・常備薬のほか、【上記】非常備蓄品
*赤ちゃんや高齢者がいる家庭は、哺乳瓶・ミルク・おむつ、持病薬・お薬手帳なども用意しておきましょう。

備蓄品はローリングストック(買い足し)しよう!

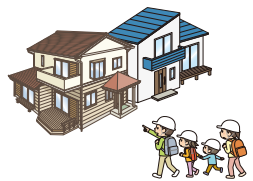
ローリングストックとは、災害時に自宅で当面生活できるように、日頃から自宅で利用しているものを少し多めに買い置き、日常生活で消費した分を新たに買い足すことで無駄なく備蓄することです。食料や飲料水などの備蓄品は、最低3日分、できれば1週間分を用意しましょう。

分散避難を検討しましょう

新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防の観点からも、避難先における3密(密集、密接、密閉)を回避するため、多様な避難形態により、避難者の集中を避ける必要があります。

避難とは、難を避けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。川の近くや低い土地、斜面といった危険な場所でないマンションなど頑丈な建物に住んでいる人は、自宅にとどまって避難生活する在宅避難も検討しましょう。

避難先は、小・中学校や公民館などの指定避難所だけではなく、安全な親戚・知人宅などに避難することも考えてみましょう。



危険なブロック塀を改善しよう!

市内小・中学校の通学路などに面したブロック塀を所有する方などに、撤去などの費用の一部を補助します。

詳しくは、[千葉市 危険ブロック塀](#)
☎市住宅供給公社 ☎245-7527 ☎245-7517



情報入手手段を確保しよう!

ちばし安全・安心メール

避難指示などの緊急情報をはじめ、防災・防犯情報をEメールで送信します。登録は、entry@chiba-an.jpへ空メールを送信。

Yahoo!防災速報

避難指示などの緊急情報に加えて、地震・豪雨・津波などの情報を入手することができるアプリです。ぜひ、ご利用ください。[Yahoo!防災速報](#)

電話・FAXによる

災害時緊急情報配信サービス

携帯電話による緊急情報の入手が困難な高齢者などを対象に、固定電話やFAXに災害時の緊急情報を配信します。詳しくは、お問い合わせください。

いろいろな国の言葉で防災情報を受け取れます

災害の時の防災情報(大雨・地震・避難所などについて)のメールを送ります。

- ①右のコードを読み取ってください。
- ②ホームページから防災情報を受け取る言葉を選んでください。
- ③選んだ言葉のコードを読み取ってください。
- ④空メール(何も書かないで)を送ってください。

対応している言葉 English、中文(简体字)、中文(繁体字)、한국어、Tiếng Việt、Español、नेपालीभाषा、Tagalog、Français、ภาษาไทย、Português、Bahasa Indonesia



家具類の転倒・落下を防ごう!

阪神・淡路大震災で亡くなった方の約8割は、建物の倒壊や家具の下敷きなどによる窒息や圧死が原因でした。家具は必ず倒れるものと考え、家具類の固定や配置の見直しなどの対策を行いましょう。

家具転倒防止をサポートします

市では、家具の転倒を防止するための金具などを自ら取り付けることが困難な世帯に、取付費の一部を助成しています。

*申請前に転倒防止金具を取り付けた場合には対象になりません。

対象 65歳以上の方、重度障害者や20歳未満の方で構成される世帯(20歳未満のみの世帯は除く)

補助額 出張料=上限5,000円

取付費=家具など1台あたり上限500円(5台まで)

詳しくは、[千葉市 家具転倒防止金具](#)

☎保健福祉センター高齢障害支援課高齢支援班(重度障害者がいない世帯)

中央 ☎221-2150 ☎221-2602 花見川 ☎275-6425 ☎275-6317 稲毛 ☎284-6141 ☎284-6193

若葉 ☎233-8558 ☎233-8251 緑 ☎292-8138 ☎292-8276 美浜 ☎270-3505 ☎270-3281

保健福祉センター高齢障害支援課障害支援班(重度障害者がいる世帯)

中央 ☎221-2152 ☎221-2602 花見川 ☎275-6462 ☎275-6317 稲毛 ☎284-6140 ☎284-6193

若葉 ☎233-8154 ☎233-8251 緑 ☎292-8150 ☎292-8276 美浜 ☎270-3154 ☎270-3281

